

上毛

特集

「減災」を基本方針に地域防災計画の見直しに取り組む 地域防災力向上の推進



9月の表紙

山国川原井地区治水対策事業が始まります

平成24年7月に起きた九州北部豪雨で被災した原井地区(月の輪学園下流側)の河川改修工事が始まります。この工事では、原井地区の護岸140mが整備されるとともに、大雨ごとに浸水していた町道荒平・岩戸線(400m)も嵩上げされ、改修済みの450mとあわせて、総延長約990mが整備されることになり、災害に強い地域づくりに寄与するものと期待されています。



町の花(春)桜
町の花(秋)コスモス
町の木 梅

編集発行/上毛町役場企画情報課
印刷/第印刷株式会社
〒871-0902
福岡県築上郡上毛町大字垂水1-32-1
FAX 0979-720311
0979-720664

人の動き

7月31日現在

- 世帯数 3,134(+6)
- 男性 3,803(+2)
- 女性 4,242(+2)
- 人口 8,045(+4)
- 65歳以上 2,509(+2) 31.2%
- 75歳以上 1,418(-1) 17.6%

うち外国人

- 人口 26(+1)
- 男性 22(±0)
- 女性 4(+1)
- 世帯数 25(+1)
- (うち混合世帯4)

参考

- 平成17年10月11日合併時
- 人口 8,499
 - 世帯数 3,057

ごみの量

7月31日現在

- 可燃ごみ 147.68t (+15.51t)
 - カン・ペットボトル 3.33t (+0.31t)
 - びん 4.66t (+0.11t)
 - 古紙他 15.55t (+2.74t)
 - 可燃粗大 3.43t (-0.12t)
 - 不燃 8.86t (-0.27t)
 - プラスチック製容器包装 1.76t (-0.37t)
 - 紙/バック、白色トレイ 0.05t (-0.02t)
- ※()内は前月増減



自分たちの地域は自分たちで守る 地域の防災訓練に積極的に取り組んでいるお二人を紹介します。



東上4区自治会長
松本 二三年さん

昨年の耶馬溪、日田での集中豪雨は、自然の猛威を実感したと同時に、私たちの防災意識を大きく変えたと思います。

「防災は地域の助け合いから」を目標に森・有田地区での防災活動を実施しています。高齢化が進む地区ですが、大切な近所付き合いは生活の一部で、いざというときに助け合える関係です。

その関係と災害発生時の連絡体制などを確認するため、防災訓練を行うにあたり、ワークショップを開き、話し合いを行いました。

集中豪雨での災害を想定し、避難の連絡を受けた住民は、指定された第一集合場所へ避難、その後、二次災害の危険性があるため、有田地区の住民は第二集合場所の森集会所へ避難することとしました。

町、社会福祉協議会、警察、県、事業の委託先であるワーキングルームの方々の協力により、7月13日(土)に45名の参加者で避難訓練を実施しました。

要援護者の災害時の救護は、車いすでの介助や声の掛け合いなど、地域ぐるみの積極的な支援が必要でした。また、反省会では発表もあり、住民一人ひとりが訓練の大切さをより一層感じたようです。

初めての避難訓練でしたが、いざというときに少しでも落ち着いて行動することの大切さを改めて実感しました。今後も、お互いに協力し合い、安全安心な暮らしを守れるよう住民同士が支え合い助け合う関係づくりを考えていると思っています。



矢方地区自治会長
福田 展且さん

矢方地区では、自主防災組織と婦人消防隊が連携した消火訓練や災害時の炊き出し訓練を毎年欠かさず年間4回行っています。

団結して地区を守るためには、日頃から災害などについて話し合い、訓練を実施し、防災活動を効果的に行わなければなりません。災害が発生した時、気持ちが乱れ個々の活動をしては、混乱が増すばかりで迅速な防災活動はできません。冷静な行動をするために、任務分けをして、住民が対応できる体制づくりが必要と考えています。

京築広域圏消防本部の方々の協力により、7月14日(日)に30名の参加者で防災訓練を実施しました。参加された皆さんは、煙体験ハウスによる疑似体験で、煙の怖さを感じたり、京築管内でただ1人の女性救急救命士による救命処置講習など貴重な体験ができ、迅速な行動、対処が尊い命を救うことをより一層感じたようです。

今後も、いざという時のための防災訓練や各種イベントなどの機会に、住民の皆さんに災害の疑似体験してもらい、防災意識の高揚につとめ、住民一同が力を合わせてこの地域を守り、安全で安心して住めるような地域にしたいと思います。



(矢方婦人消防隊)

こうげマンが行く!

百穴を優しく 照らす盆提灯

百留横穴墓群

イラスト/絵本製作委員会 東みどりさん

百留地区にある、百留横穴墓群(町指定遺跡)は古墳時代のお墓で、横穴の数が多いことから地元では「百穴」と呼ばれて親しまれてきたんだ。しかし数年前までは草や木が生い茂り、すぐ下の町道を通っていても気がつかない人がほとんどだったそうだよ。

そこで地域づくり活動事業として、百穴の保全活動を進めるために「百穴壮年会」を結成、定期的な清掃活動や駐車場の整備、案内板の設置などを行ったそうだよ。

今では遠方からの見学者も増えてきて、上毛町を代表する観光スポットのひとつになっているよ。

また百留横穴墓群は、町の発掘調査によって家族墓だったことがわかり、地域の力で祖先の弔いをしていこうと、お盆の3日間は、百穴の周辺に提灯を灯して地元の方々が盆踊りを行っているんだよ。文化財の保全活動やイベントを通して繋がる地域の輪が、これからも盆踊りの輪のように楽しく大きく広がってほしいなあ。

